

## 心理情報学実験演習Ⅱへの心構え

### 1. はじめに

- 1) 実験演習Ⅱの課題およびその日程は、実験演習スケジュールに従って行われる。
- 2) 実験演習には、必ず毎回出席する。やむを得ず欠席する場合は、事前に担当教員まで届け出ること。
- 3) 事情があって欠席をした場合は、事後となってもかまわないので事情を説明するために担当教員の所へ出向き、その指示を仰ぐこと。ただし「寝坊」に代表される私的な事情による欠席については原則的に補講を行わない。
- 4) やむを得ず欠席した場合は、補講を行う。補講日については、担当教員から指示が出るので各自確認すること。
- 5) 全体の授業運営を乱し、他の受講者に多大な迷惑をきたすため遅刻は厳に慎むこと。
- 6) 携帯電話は、授業の前に電源を切り、授業中はかばんにしまっておくこと。

### 2. 実習中

- 1) 実習にあたっては、担当教員の説明を受け、実習手続きや検査道具の操作を十分に理解したうえで取りかかるようにすること。
- 2) 実験演習用のノートを用意し、実験条件あるいは検査条件やデータはもちろん、実験・実習中に気づいた問題点などを、その都度、記録して、参考にする態度を養うことも必要である。
- 3) 机の上に、実習に必要なもの以外は載せないこと。
- 4) 検査道具の取り扱いには慎重に行い、もし汚損の生じた時には担当教員の指示を求めること。
- 5) 検査条件を乱すおそれのある行為(私語、居眠り、パソコンゲーム、携帯電話の使用など)は厳に慎むこと。注意にもかかわらず、このような行為が繰り返される場合は、授業運営の妨げになるため、即時退室ならびに減点の対象となる。なおかつ補講は行わないものとする。
- 6) 実習中であるなしにかかわらず、教室内は禁煙でかつ飲食も許されない。

### 3. 実習後

- 1) テキスト, 検査道具など借りたものは期限までに必ず返却すること. 返却なき場合は, 実費を請求することがある.
- 2) レポートは, 「レポート作成における一般的な注意点」を良く読み, 所定の形式に従う. 不備なレポートは書き直してもらうことがある.
- 3) レポートは, 個人別に期限までに提出すること. 提出期限と提出場所は教員が指示を出すので各自確認しておくこと.

### 4. その他

- 1) 担当教員からの指示は, 学生ポータルに掲載されることがある. 受講者は, 週に 1 回以上の頻度で定期的に確認すること. とりわけ講義の前後に指示が掲載されることが多い.
- 2) 検査道具は, 心理情報学実験演習の学習の目的以外に使用しないこと.
- 3) 技術者の倫理規定に則した行動をとるよう心掛けること.